

ちくぶ 広報

お知らせ版

読書の感想文を送ってネ

公民館図書室でコンクール

夏休みに読んだ本の感想文を送ってください。
中央公民館図書室では、読書感想文コンクールをします。が、つぎのとおり作品を募集します。

好きな本、印象に残っている本、最近読んだ本など、どれでも結構です。

一冊選んで感想文を書いて送ってください。

〔資格〕一部〓小学生、二部〓中学生、三部〓一般(市内に住

んだり、勤務している人で、高校生以上の人)

〔枚数〕一部〓四百字づつ原稿用紙四枚以内、二部、三部〓六枚以内

〔しめ切り〕十月三十日

〔提出先〕別紙に、図書、著者発行所名と住所、氏名、年齢、学校、学年、職業を書いて中央公民館図書室へ。

なお、入選作品は、一冊の本にまとめて発表します。
くわしくは中央公民館へ。

市立病院の看護婦募集

市立病院では、看護婦と助産婦を募集しています。

採用人員は五人です。

申込み資格は、看護婦が昭和十六年九月二日以降に生まれて正看護婦の免許をもっている人、助産婦が昭和十一年九月二日以降に生まれて、助産婦の免許をもっている人です。

希望者は、備え付けの用紙記入のうえ、八月十六日から二十八日まで、人事課へ申込んでください。

くわしくは、人事課へ。

介護奉仕員を募集します

単身老人や身障世帯

福祉事務所では、介護奉仕員を募集しています。

市内には、百二十八世帯のおとしよりや身体障害者のひとりぐらしがいます。ホームヘルパーがまわっていますが、完全な世話ができません。

そこで地域の人たちに協力をお願いし、食事の世話や、住居のそうじ、買い物などをしてもらおうというものです。

募集人員は二十人で、資格は満二十歳から六十四歳までで、健康で、社会奉仕の意欲がある人ならどなたでも結構です。

希望される人は、福祉事務所社会係へ申込んでください。

高額医療費の返

済が三万九千円に

国民健康保険に加入している人が、一カ月三万円をこえる医療費を窓口で支払ったとき、三万円をこえて支払った金額が返えられていましたが、国の法律が改定され金額が八月から三万九千円になりました。

これは、国税の会計が苦しくなったものです。
この制度は、高額療養費の支給制度といつて、つぎの内容です。

(1) 国保の被保険者が、医療機関にかかったとき、三割の医療費の一部負担金を窓口で支払ってください。

(2) 一カ月(その月の一日から月末まで)に支払った金額が三万九千円をこえるときは、領収書をもらってください。

(3) 一つの病気で、一つの病院に支払った金額が三万九千円をこえたときだけしか該当しません

(4) 領収書は、高額療養費支給申請書といっしょに、市民課保険係へだしてください。

くわしくは市民課へ。

県民手帳はいかがですか

申込みは企画課へ

来年の県民手帳が売り出されます。

この手帳は、日記が書かれるほか、県内の市町村のおもな行事、面積、人口、交通安全運転メモなどがついています。

大きさは73.5×120.5、版、95.5×145.5、版の二種類で、価格は二百円と二百七十円です。

希望者は、企画課広報統計係へ申込んでください。

援護業務の移動相談

25日八女市役所で

県では、援護業務の移動相談を、八月二十五日午前十時から午後四時まで、八女市役所でひらきます。

相談は、旧軍人、軍属などの恩給、扶助料、年金など援護に関することなら、どんなことでも結構です。相談は無料。

どうぞ、ご利用ください。
くわしくは福祉事務所へ。